

令和5年度

# CSR 活動報告書

対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日



未来の**環境**のためにできること...

循環型社会への環境づくりに取り組む「富士企業」



社会に真心を奉仕する

## 富士企業株式会社

発行 令和6年9月1日

I	ごあいさつ	1
II	会社概要	2
III	行動規範	3~5
	1. 社是	
	2. 理念	
	3. 事業活動綱領	
IV	方針	6~9
V	CSR 概念図	10
VI	CSR 活動報告	11~20
	1. CSR 事業推進マネジメント委員会 目的・目標・実績	
	2. 品質・環境マネジメント委員会 目的・目標・実績	
	3. 社会貢献活動について	
	4. 法令順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無	
	5. 表彰等について	

## I ごあいさつ

### 「CSR 活動報告書」の発行に寄せて

当社は、令和 5 年 6 月で創業 65 周年という節目を無事に迎える事ができました。これもひとえに、皆様の暖かいご支援、ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。

令和 5 年度は、4 年間続いた新型コロナウイルス感染症の翻弄から解放され、多方面で少しずつコロナ以前の状況へ戻って来ていましたが、社会情勢は相変わらず変化の激しい状況でありました。その様な状況の中で当社においては、重大な問題もなく安定的に事業活動を進める事が出来ました。特に業績について、令和 4 年度は各事業で特需効果により、増収増益でしたので、その結果と比較したら、令和 5 年度は少し減少内容となりますが、それでも良い結果内容だったと思います。社員の皆様が事業活動に対する理解と努力の賜物と心より感謝を申し上げます。

令和 5 年度も全体の最重要取組みを「交通安全と業務安全の推進」を掲げ従業員の意識改革に向けた取組みを行い、「無事故・無災害のゼロ職場」を目指していましたが、現状はまだまだ遠い状況であります。引続き令和 6 年度も最重点課題として取組み活動を進めていきますので、社員の皆様が、笑顔で安心して働ける「ゼロ災職場」を目指し、各自が強く意識して取組んで頂く事を願います。

当社が長年築き上げた信用・信頼は最大の財産であり大きな「企業力」です。令和 6 年度の企業戦略方針を「時代の変化を考え、リスク低減に取組み、強い企業力を構築する」と掲げ、変化の激しい社会情勢に動じない「強い企業力」の構築を目指します。設定した社内目標を認識し、達成に向けた取組みを推進して頂くよう、ご理解とご協力をお願いします。

今後も「社会に真心を奉仕する 富士企業」という社是のもと事業活動を行い、地域社会から愛される「良き企業市民」となれるよう責任を果たし取組んでまいります。

最後になりますが、お客様、お取引様、従業員の皆様のご健康とご多幸を祈念するとともに今後もご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 眞継 昭

## II 会社概要

商号	富士企業株式会社
本社	広島市佐伯区楽々園四丁目6番19号 TEL(082)923-0188 FAX(082)922-5526
支店	山田事業所 広島市西区山田町374 TEL(082)961-3602 FAX(082)961-3603
資本金	10,000,000円
創業	昭和33年6月
代表者	代表取締役 眞継 昭
従業員数	175名 (R6.4.1現在)
営業種目	廃棄物収集運搬処理、浄化槽清掃・維持管理、水道施設維持管理、 下水道施設維持管理、各種環境プラント維持管理、建物総合管理、 環境計量証明事業、作業環境測定機関、建設業

### 沿革

昭和33年06月	富士衛生工業株式会社設立。
昭和46年02月	富士企業株式会社に社名変更。
平成12年06月	国際標準化機構 ISO14001 の認証を受ける。
平成29年08月	国際標準化機構 全社においてISO14001とISO9001の統合認証を受ける。

令和元年08月 広島県働き方改革実践企業 の認定を受ける。



令和2年11月 ひろしまエコ事業所 の認定を受ける。



令和6年05月 広島県男性育児休業取得促進ベストプラクティスの認定を受ける。



詳細は産廃情報ネットに記載しています。

産廃情報ネット → 産廃処理業者検索 → データ閲覧・検索 → 処理業者名・業者番号から → 「業者番号 004411 処理業者名 富士企業株式会社」で検索してください。

会社ホームページはこちらから



### Ⅲ 行動規範

## 社 是

「社会に真心を奉仕する 富士企業」

## 理 念

わが社は社会の「良き企業市民」の一員として  
高い倫理観を持ち、持続可能な社会に向けて  
責任を果たし、地域社会の発展に貢献する

# 事業活動綱領

2015年10月1日

富士企業株式会社

## 序 文

これまで、わが社は、社是「社会に真心を奉仕する富士企業」の礎に事業活動をおこなってきた。社会と共生し、さらに持続して発展していくためには、高い倫理観を持ち、法令順守はもとより、公正な競争を通じて付加価値を創出し、自らの社会的責任を認識して、これまで以上に安全確保や環境に配慮した活動など、さまざまな課題の解決に積極的に取り組んでいかなければならない。

お客様、株主、取引先、従業員、行政、地域社会をはじめとするわが社を取り巻く幅広い利害関係者との対話を通じて、その期待に応え、信頼を得るよう、より一層努め、地域社会の発展と密接に関係していることを再認識したうえで、経済、環境、社会の側面を総合的に捉えて事業活動を展開し、広く地域社会にとって有用な存在とならなければならない。

また、わが社としての取り組みで終わることなく、利害関係者全体に社会的責任を踏まえた行動を促すことも大切である。

人権を尊重し、関係法令、ルールおよびその精神を順守して、自主的取り組みを実践し、社会の「良き企業市民」の一員として、高い倫理観を持ち、持続可能な社会に向けて責任を果たし、地域社会の発展に貢献する。

ここに富士企業株式会社は、「企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)」を率先して果たし、事業活動を推進していくため、本事業活動綱領を制定する。

1. 経営トップは、行動規範の精神の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、社内ならびにグループ企業にその徹底を図るとともに、取引先にも促す。また、社内外の声を常時把握し、実効ある社内体制を確立する。
2. 人権尊重、法令の順守はもとより、文化や慣習、利害関係者の関心に配慮した事業活動を行い、地域社会の発展に貢献する。
3. 社会に必要とされる安全安心な製品・サービスを提供し、お客様の満足と信頼を得る。
4. 人類共通の課題である環境問題への取り組みを主体的に行動する。
5. 従業員の多様性、人格、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保し、ゆとりと豊かさを実現する。
6. 社会の「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行う。
7. 公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行う。
8. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは断固として対決し、関係遮断を徹底する。
9. 広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的かつ公正に開示する。また、個人情報・お客様情報をはじめとする各種情報の保護・管理を徹底する。
10. 行動規範に反するような事態が発生したときには、経営トップ自らが問題解決にあたる姿勢を明らかにし、原因究明、再発防止に努める。また、社会への迅速かつ的確な情報の公開と説明責任を遂行し、権限と責任を明確にした上、自らを含めて厳正な処分を行う。

## IV 方針

# CSR 推進方針 P-001

(第2版)

富士企業株式会社は、法律を順守することはもとより、さまざまな規範を理解し尊重すると共に、利害関係者の関心に配慮しながら事業活動を行う。事業活動が行動規範に適合しているかどうか適宜チェックし、率先して企業の社会的責任（「CSR」という。）を果たして事業活動を推進する。

マニュアルを作成して、計画、実行、チェック、見直しをして事業活動を行うことにより、「良き企業市民」の一員として、行動規範に反する行為や、反するおそれのある事態が起こらないよう、CSR推進の内部体制を構築する。

ここに、以下のCSR推進方針を表明する。

1. 行動規範の明確化と社内への徹底を図り、全社的な取り組み体制を整備し、書類を確立し、維持し、CSRの推進にあたる。
2. 企業グループ全体において企業倫理を徹底して、CSRの推進を図る。あわせて、取引先をはじめとするサプライチェーンにおいても、そうした取り組みを促す。
3. 自社の行動規範や法令を順守するとともに、人権を含む各種の規範を尊重する。また、地域の文化や慣習を尊重し、利害関係者との相互信頼を基盤とした事業活動を推進する。
4. 経営資源を活用して社会貢献活動を推進すると共に従業員の自発的な社会貢献活動を支援する。
5. 幅広い利害関係者に対して、情報を適時、適切に開示し、広報、問合せ窓口開設などの活動を通じて、双方向のコミュニケーションを促進する。
6. 個人情報・お客様情報を適正に管理し、保護する。
7. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは断固として対決し、関係遮断をする。
8. 従業員の教育研修などを通じて、CSR推進マニュアルを社内全体に周知徹底させ、確実にCSR推進を図る。
9. CSR事業活動に疑問を感じたときに直接相談ができる窓口を整備し、報告を義務付ける。
10. CSR事業活動に関する内部監査計画の立案、実施などを行う。
11. 常日頃から、危機管理の視点に立って、緊急事態の発生を予防するための社内体制を整備する。
12. CSR事業活動に問題が発生した場合に迅速に社内調査などを進め、適切な対応がとれるような社内体制を整備する。
13. このCSR推進方針を社内外に明らかにする。

令和2年6月1日

## 品質方針 P-002

(第2版)

富士企業株式会社は、法令等を順守することはもとより、さまざまな規範を理解し尊重すると共に、利害関係者の関心に配慮しながら事業活動を行う。事業活動が行動規範に適合しているかどうか適宜チェックし、提供する製品及びサービスの品質と安全性を確保する。

マニュアルを作成して、計画、実行、チェック、見直しをしてマネジメントシステムの継続的改善を行い、事業活動を行うことにより、行動規範に反する行為や、反するおそれのある事態が起こらないよう、提供する製品及びサービスの品質と安全性を確保する内部体制を構築する。

ここに、以下の品質方針を表明する。

1. 提供する製品及びサービスの品質と安全性を確保する。
2. お客様からの問い合わせなどには誠実に対応し、その声を提供する製品及びサービスの改良などに反映する。
3. 従業員の教育研修などを通じて、品質マニュアルを社内全体に周知徹底させ、確実に品質と安全性の確保を図る。
4. 提供する製品及びサービスに疑問を感じたときに直接相談ができる窓口を整備し、報告を義務付ける。
5. 品質に関する内部監査計画の立案、実施などを行う。
6. 提供する品質に問題が発生した場合に迅速に社内調査などを進め、適切な対応がとれるような社内体制を整備する。
7. この品質方針を社内外に明らかにする。

令和2年6月1日  
富士企業株式会社  
代表取締役社長 眞継 昭

# 環境方針 P-003

(第2版)

富士企業株式会社は、法令等を順守することはもとより、さまざまな規範を理解し尊重すると共に、利害関係者の関心に配慮しながら事業活動を行う。事業活動が行動規範に適合しているかどうか適宜チェックし、人類の存立基盤に関わる極めて重要な課題である低炭素社会の構築に貢献する。

マニュアルを作成して、計画、実行、チェック、見直しをしてマネジメントシステムの継続的改善を行い、事業活動を行うことにより、自主的かつ積極的に温室効果ガスの削減、廃棄物の適正処理や循環型社会の形成に取り組み、行動規範に反する行為や、反するおそれのある事態が起らないよう、汚染の予防及び環境保全に対する内部体制を構築する。

ここに、以下の環境方針を表明する。

1. 低炭素社会の構築に取り組む。
2. 循環型社会の形成に取り組む。
3. 環境リスクの対策に取り組む。
4. 持続可能な資源の利用、並びに生物多様性の保全に取り組む。
5. 従業員の教育研修などを通じて、環境マニュアルを社内全体に周知徹底させ、環境保全の確保を図る。
6. 提供する製品及びサービスに疑問を感じたときに直接相談ができる窓口を整備し、報告を義務付ける。
7. 環境に関する内部監査計画の立案、実施などを行う。
8. 環境に影響を及ぼす問題が発生した場合に迅速に社内調査などを進め、適切な対応がとれるような社内体制を整備する。
9. この環境方針を社内外に明らかにする。

令和2年6月1日  
富士企業株式会社  
代表取締役社長 眞継 昭

# 労働環境方針 P-004

(第2版)

富士企業株式会社は、法令を順守することはもとより、さまざまな規範を理解し尊重すると共に、利害関係者の関心に配慮しながら事業活動を行う。事業活動が行動規範に適合しているかどうか適宜チェックし、人は重要な経営資源であり、労働環境の改善、安全及び健康の確保を、企業経営における最優先課題として取り組む。

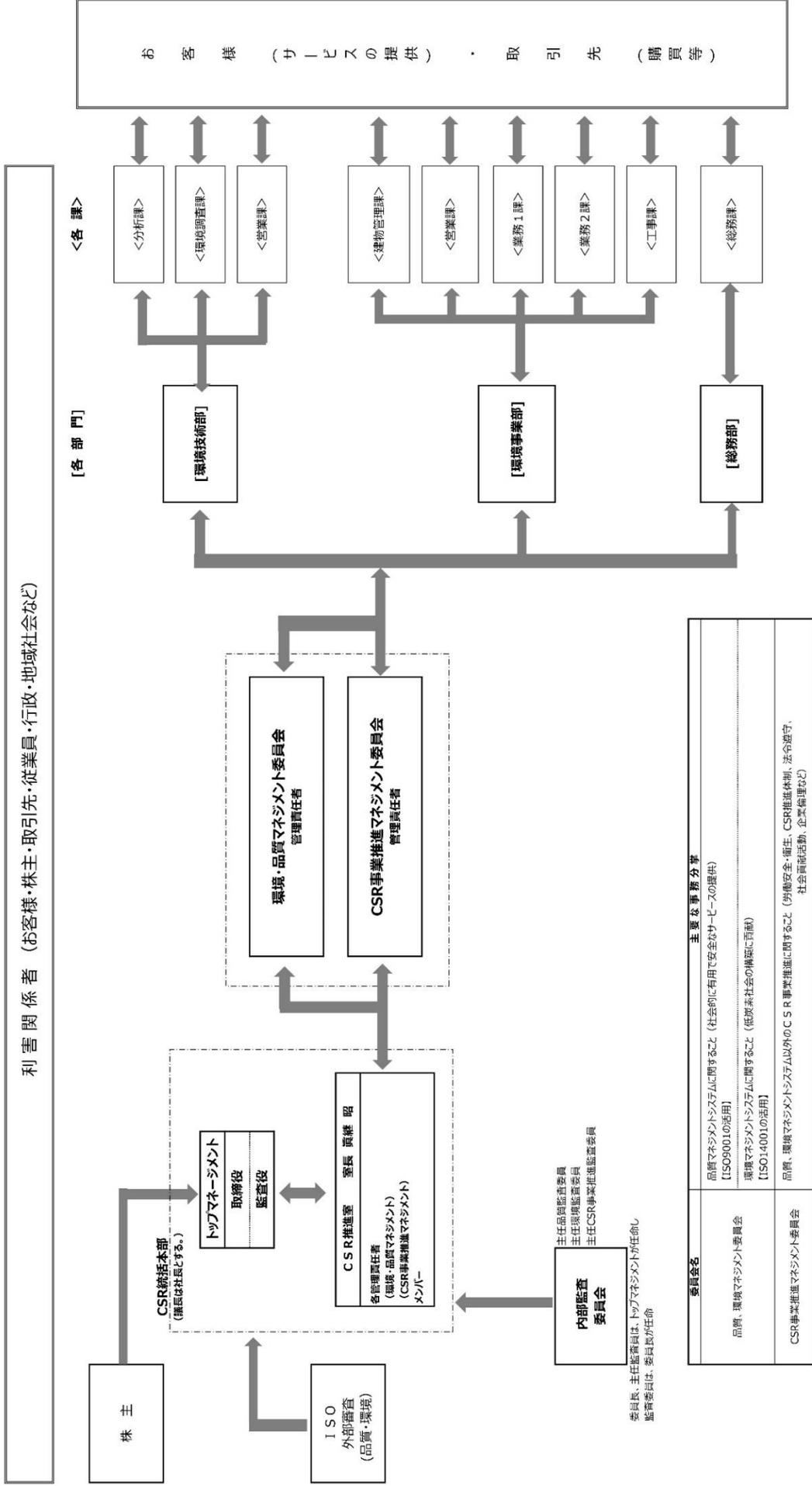
マニュアルを作成して、計画、実行、チェック、見直しをして事業活動を行うことにより、労働関連法規を順守するとともに、公正な人事、処遇制度の整備、健康で安全な職場環境など、労働環境の見直しを行い、行動規範に反する行為や、反するおそれのある事態が起こらないよう、労働環境に対する内部体制を構築する。

ここに、以下の労働環境方針を表明する。

1. ワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、多様な人材の就労を可能とする人事・処遇制度を構築する。
2. 雇用および処遇における差別を行わず、機会の均等を図る。
3. 労働災害を防止し、従業員の健康づくりを支援する。
4. 従業員の教育研修などを通じて、マニュアルを社内全体に周知徹底させ、労働環境の整備を図る。
5. 労働環境に疑問を感じたときに直接相談ができる窓口を整備し、報告を義務付ける。
6. 労働環境に関する内部監査計画の立案、実施などを行う。
7. 労働環境に問題が発生した場合に迅速に社内調査などを進め、適切な対応がとれるような社内体制を整備する。
8. 労働環境方針を社内外に明らかにする。

令和2年6月1日  
富士企業株式会社  
代表取締役社長 眞継 昭

# 富士企業株式会社 CSR 概念図



## VI CSR 活動報告

### 1. CSR 事業推進マネジメント委員会 目的・目標・実績

#### (1) 交通安全と業務安全の推進

##### ● 目的

- ・無事故・無災害 前年度実績(138日)クリア
- ・労務災害ゼロ職場

##### ● 目標

##### 【車両後退に伴う事故防止】

- ・令和4年実績の半減化
- ・運転技能訓練の実施

##### 【トライ・ザ・セーフティ in 広島チャレンジチーム達成】

- ・達成チーム率70%

##### 【ヒヤリハット活動の強化】

- ・月に1件 抽出及び改善対策



##### ● 実績

項目	目標値	実績	
無事故・無災害継続日数	138日以上	160日	達成
労務災害発生件数	0件	1件	未達成
車両後退事故件数	1件	7件	未達成
「トライ・ザ・セーフティ in 広島」のチャレンジ達成チーム率	70%以上	71.4%	達成

①当社は令和4年度から交通安全と業務安全の推進に取り組んでいますが、従業員の意識改革は、まだまだ不十分なので今年度も無事故無災害前年度実績クリア、労務災害ゼロを目指し取り組みました。交通安全に対する意識を高める為、外部講師を招き特殊車両(ユニック)の取扱い教育、全体教育として安全大会開催時に安全管理者による教育、などの活動を行ってまいりました。結果としては最長の継続日数は160日と目標を達成しました。事故違反件数は3件(令和4年度6件)となり半減しました。令和6年度も重大事故・労務災害ゼロ継続日数の更新に努めてまいります。

## 山田事業所ユニック車取り扱い安全教育



- ② **労務災害ゼロ**という目標を掲げ、今年度もヒヤリハット活動の強化(月に1件抽出/人)や職場巡視・安全パトロールの実施、KYT活動、品質安全検査を行ってまいりました。しかし、**発生件数は1件(令和4年3件)**と半減しましたが、労務災害ゼロが目標であるため、今年度も各部門を中心として継続して活動を行っていきます。

## 重量物運搬教育



- ③ 車両後退事故については、目標1件に対し**実績7件**となりました。車両後退時にはこれまで同様にハザード点灯、窓を開ける、同乗者がいれば必ず降車しバック誘導するという当社ルールの実施を継続していますが、結果に結びつかない状況です。また、やむを得ない状況を除いては、なるべく車両後退をしない方法での収集ルート作成など検討し、車両後退時の事故半減化に取り組んでいきます。
- ④ 「トライザセーフティ in 広島」に全社員で取り組み、チーム達成率目標70%に対し、**チーム達成率は71.4%**となり目標を達成することができました。今年度も21チーム総勢105名で参加し、達成率70%を目指し取り組みます。

⑤今年度より新たな取組として、社員へのスポーツジムを活用した福利厚生として、スポーツジム利用料の助成をはじめました。企業が健康経営に取り組むことは、社員の心身のリフレッシュ、健康に対する意識向上、社内コミュニケーションやモチベーションの向上が期待できます。社員の皆様にはこの福利厚生制度を活用して頂き、ワークライフバランスの充実に努めて頂ければと思います。

## (2) 限界収益の確保

### ● 目的

～売上総利益率 18%以上の確保～



### ● 目標及び実績

※売上総利益率 (%) … (売上金額-売上原価) / 売上金額 × 100

	目標値 (%)	実績 (%)	
全体	18.0 以上	21.6	達成
環境事業部	21.0	20.4	未達成
業務 1 課	26.0	24.0	未達成
業務 2 課・工事課	26.0	28.6	達成
建物管理課	5.0	4.8	未達成
環境技術部	28.0	29.3	達成

売上総利益 18%以上確保を目標に、各部において、不採算業務の見直し(値上げ交渉・整理等)、チラシ配布による新規顧客獲得、社内連携の活性化、多能工化によるフレキシブル体制の推進等、取り組みました。

結果としては、売上総利益 18%以上確保の目標に対して、**令和 4 年度では 22.1%**、今年度も**全体で 21.6%と 18%以上確保を達成**しました。

医療系の収集運搬のコロナ特需の反動による売上高の減少、および賃上げによる労務費増加等マイナス要因がありましたが、売上高に対する外注費の抑制が良かった内容としてあげられます。

令和 6 年度も、目標の継続達成、また全部門目標達成を目指し、安定的に売上高の確保とリスク低減の推進、売上原価の抑制を推進していきます。

### (3) 人材の育成と定着～次世代のベース構築～

#### ●目的

【多能作業者の育成推進】(1名が1技能、業務又は1資格の習得)

【中核管理者(中核人財)の教育強化】(社外講習会等の活用)

【働き方改革実践の継続推進】

- ・週2回の定時推進
- ・有給休暇10日以上取得
- ・男性の育児休暇取得1件以上

#### ●令和5年度 目標及び実績

項目	目標値	実績
多能作業者の育成推進	1名が1技能、業務又は1資格の習得	内部教育、外部教育 資格取得など各部にて展開
中核管理者の教育強化	実行	外部教育受講(5名)
週2回の定時推進	月8回ノー残業デー	達成率89.3%
有給休暇	10日以上取得	達成率76.1%
男性の育児休暇取得	1件以上	3名取得

①令和5年度では変化の多い社会情勢の中で、安定的に事業活動を推進するため、一人1業務・技能または1資格の習得を目標に取り組みました。建築物排水管清掃作業監督者・清掃作業監督者など、延べ人数で38名の方が新たに資格を取得されています。建築物石綿含有建材調査者講習・中堅作業環境測定士講習など外部教育には延べ108名が参加しました。令和6年度は社会情勢の変化にフレキシブルに対応するため、人材の育成と補充を推進し、『強い企業力』を構築していきます。



### 資格取得一例

建築物排水管清掃作業監督者	1名	職長・安全衛生責任者	1名
清掃作業監督者	1名	第2種電気工事士	1名
貯水槽清掃作業従事者	4名	テールゲートリフター	11名

### 外部教育受講一例

普通救命講習 I	3名	墜落制止用器具作業業務	1名
防除作業従事者研修	2名	中堅作業環境測定士講習	2名
建築物石綿含有建材調査者講習	1名		

②部下の育成や組織のマネジメントを効果的に行い、将来会社を支える立場となる中核人材(中核管理者)の教育強化についても推進しています。今年度は更に役職候補者の教育強化についても取り組んでいきます。

### マネジメント教育受講一例

後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割	2名
多能工化の進め方	1名

③月8回のノー残業デーの実施は、今年度途中から集計方法を変更し、1人当たり月8回のノー残業デーを全社で何%達成できたかを集計しました。結果では、11月～3月で延べ人数508人、4,064回の内、ノー残業回数3,631回で達成率89.3%となりました。法律で定められている有給休暇取得義務5日については全従業員が取得しています。更に会社目標である有給休暇年間10日取得は142人中108名が取得でき達成率は76.1%となりました。男性の育児休暇取得は令和4年が2名取得に対して今年度は3名の取得がありました。ノー残業デー実施、有給休暇取得推進、男性の育児休暇取得の推奨など実施し、働き方改革を継続推進していききたいと思います。



(4) 環境保全の推進～低炭素社会を目指した取組み～

●目的

【燃料使用の管理】(売上げに対する燃料使用率)

【低公害、低燃費車両の購入推進】(計画的な投資)

【飛散及び漏洩防止に向けた管理推進】

①緊急事態訓練の充実 ②特殊車両の取扱い教育 ③機材、工具の点検確認の強化

●令和5年度 目標及び実績

燃料使用の管理(売上燃料使用割合)について

・売上燃料使用割合(%) = 燃料使用量(ℓ) ÷ 売上(円) × 100

	目標値(%)	実績(%)	
全体	0.014以下	0.0138	達成
環境事業部	0.016以下	0.0152	達成
業務1課	0.026以下	0.0258	達成
業務2課・工事課	0.016以下	0.0158	達成
環境技術部	0.005以下	0.0035	達成
建物管理課	0.002以下	0.0010	達成

令和5年度は、目標値0.014以下に設定し、目標に向かって運用し、各作業のルートの見直し、不要アイドリングストップの実施、低燃費車両4台導入を行いました。結果、売上燃料使用割合の実績値0.0138となり達成しました。令和6年度は、目標値0.0145以下に設定し、目標に向かって推進していきます。

導入した車両



## 2. 品質・環境マネジメント委員会 目的・実績

### (1) 顧客満足度調査の実施

#### ●目的

お客様の声をお聞きし、今後の業務改善に役立ていく。  
また会社に寄せられた情報を全部門で水平展開する。

#### ●令和5年度 実績

顧客満足度調査を **203 件実施 (回答件数 116 件)** しました。

#### 今回頂いたご意見一部記載

##### 非常に良い・良い

- ・いつも元気なあいさつに私たちも元気をもらっております。
- ・時間通りに回収にこれれキビキビ作業されており良かったです。
- ・いつもご丁寧な対応有難うございます。

##### 気になる点がある

- ・他の部署がやっておられる業務をお願いした時断られた。商売っ気がないと思う。
- ・修繕に入るまで時間がかかり過ぎ、忘れているのかと思った。
- ・作業完了後の説明について『メモ書きでもいいから、「何時何分帰ります」と郵便受けに入れてくれるとありがたいです。

##### 改善が必要・悪い

- ・特に無し

今回の頂きました貴重なご意見について、良い点につきましては継続し、ご指摘頂いた点につきましては、社員への周知徹底を行い、お客様により満足していただけるサービスを提供できるよう改善に努めて参ります。

### (2) 品質・安全検査の実施

#### ●目的

・サービスの品質と安全(利用者へのリスク対策)を確保し、お客様に安心して頂けるサービスを提供する

#### ●令和5年度 実績

品質安全検査を **51 件実施** しました

品質安全検査ではサービスの品質が守られているか、サービスの安全性が保たれているかを確認しています。また、不安全行動の抽出や作業効率の改善、怪我やヒヤリハットが報告された業務内容等精査し、再発防止策がとられているか是正処置の効果を確認しています。

#### 品質安全検査



### (3) 外部審査

令和5年5月29日～5月31日に一般財団法人 電気安全環境研究所による ISO 再認証審査を受けました。その結果、軽微な不適合1件、観察事項3件のご指摘をいただきました。

軽微な不適合として指摘された内容は、発生したクレームについては顧客情報受付表に記載され、修正処置、原因究明、是正処置が記録されているが、是正処置の有効性のレビューが記録されていないとの内容であった。クレームを受け付けてから、是正処置までの処理が明確になるように様式を変更し、マネジメント委員会にて社員に周知しました。審査結果としては、ISO14001 及び 9001 を再認証して頂きました。

#### 外部審査



### 3. 社会貢献活動について

#### (1) 社会奉仕活動

ここ数年コロナウィルスの関係で自治体主催の行事において、参加の機会が減少していましたが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されるに伴い、徐々に参加の依頼が増えてまいりました。今年度は、自治体や所属する協会主催の活動に 13行事、延べ91名が参加をしました。



## (2) 障害者就労支援

広島市が認定する広島市障害者就労支援モデル事業所の障害者を多数雇用する事業所として認定を受けています。

また、広島県障害者技能競技大会（ひろしまアビリンピック）の審査員として当社社員を派遣、特別支援学校より清掃業務職場実習の受入れなど、障害者就労支援のお手伝いをしています。

## (3) 会社見学

地元の楽々園小学校2学年の児童さんが「町たんけん」という学習で当社に見学に来られました。環境に関わる環境分析のお仕事、バキュームカーでのお仕事など、実際に見て触って楽しく学んでいただきました。



## 4. 法令順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

令和5年度の法令順守状況を確認した結果、全業務において適正でした。また違反及び訴訟もありませんでした。

## 5. 表彰等について

### (1) 表彰状

弊社の齊藤孝幸が浄化槽の適正な保守点検および清掃を通じ地域の環境保全、環境衛生の向上に貢献したとして、公益社団法人広島県環境保全センターより保守点検・清掃の部において表彰されました。

### 授賞式写真



## (2) 広島市政功労者受賞

弊社取締役相談役 大森 雄嗣(おおもり たけし)が五日市商工会副会長等として、広島市産業経済の発展に貢献したとして、[広島市政功労者表彰の産業経済発展の部](#)にて表彰されました。

### 授賞式写真

